



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マーベラス

コード番号 7844 URL <https://corp.marv.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 中山 晴喜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 CFO 管理統括本部長 (氏名) 加藤 征一郎 TEL 03-5769-7447

四半期報告書提出予定日 平成30年2月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	17,390	△19.6	2,962	△22.5	2,990	△23.7	2,025	△28.2
29年3月期第3四半期	21,636	△10.7	3,821	△3.8	3,917	△0.6	2,820	4.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,044百万円 (△28.5%) 29年3月期第3四半期 2,860百万円 (6.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	39.16	—
29年3月期第3四半期	54.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	23,956	17,011	71.0	328.81
29年3月期	24,228	16,539	68.2	319.58

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 17,006百万円 29年3月期 16,528百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期（予想）				33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成30年3月期（予想）期末配当金33円00銭の内訳は、普通配当30円00銭、創立20周年記念配当3円00銭です。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△14.9	5,000	△13.1	5,000	△13.9	3,300	△20.8	63.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

業績予想の修正については、本日（平成30年1月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	53,593,100株	29年3月期	53,593,100株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,872,421株	29年3月期	1,872,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	51,720,680株	29年3月期3Q	51,720,700株

（注）期末自己株式数については、「株式給付信託（BBT）」の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）が所有している500,000株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(四半期連結貸借対照表関係)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	7
(株主資本等関係)	7
(セグメント情報等)	8
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるエンターテインメント業界は、国内のモバイルゲーム市場におきまして、引き続き多くの新作タイトルが配信され、中でも有力IP（知的財産）を用いたタイトルや、中国・韓国発のタイトル、女性向けタイトルの存在感が増す中、より競争が激化しております。国内家庭用ゲーム市場におきましては、新型ハードの牽引もあり、11年ぶりにハード・ソフト市場ともに前年の市場規模を上回りました。また、アミューズメント市場におきましては、VR（ヴァーチャル・リアリティ）や施設運営事業者によるインターネット事業参入の取り組みが活発となりました。音楽映像市場におきましては、依然としてパッケージ市場が厳しい状況ではありますが、アニメ関連やライブエンターテインメント市場は引き続き好調を維持しております。

このような状況下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を基軸とした総合エンターテインメント企業として、強力なIPの確立に向けたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年12月31日）の業績は、売上高17,390百万円（前年同期比19.6%減）、営業利益2,962百万円（前年同期比22.5%減）、経常利益2,990百万円（前年同期比23.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,025百万円（前年同期比28.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①オンライン事業

当事業におきましては、新作スマートフォン向けゲームアプリ「戦刻ナイトブラッド」を平成29年5月29日より、「おそ松さん よくばり！ニートアイランド」を同9月19日より、「シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK」を同11月29日より、サービスを開始し、中でも「シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK」は好調なスタートとなりました。一方で、一部の不採算タイトルはサービスの終了を決定したほか、当期リリースに向けて開発中であった一部タイトルの開発中止を決定し、それぞれ開発費用を一括計上いたしました。また、既存の主力タイトル「剣と魔法のログレス いにしえの女神」は、4周年イベントは好調であったものの、全体を通して前期と比べて低調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は7,298百万円（前年同期比36.3%減）、セグメント利益は902百万円（前年同期比63.7%減）となりました。

#### ②コンシューマ事業

当事業の自社販売部門におきましては、国内では、平成29年7月20日に「Fate/EXTELLA（フェイト／エクステラ）」（Nintendo Switch）を、同11月29日に「シノビリフレ -SENTRAN KAGURA-」（Nintendo Switchダウンロード専売）を、同12月14日に「牧場物語 ふたごの村+」（ニンテンドー3DS）を発売し、それぞれ順調なセールスとなったことに加え、旧作のリピーター販売等が好調に推移いたしました。また、海外におきましては、当社主力シリーズの北米・欧州等への展開を行い、好調に推移いたしました。

アミューズメント部門におきましては、前期より好評稼働中の「ポケモンガオーレ」が引き続き好調に推移したことに加え、新機軸のプライズマシンである「TRYPOD」を平成29年11月より出荷開始し、好評を頂いております。

この結果、当事業の売上高は5,839百万円（前年同期比10.1%減）、セグメント利益は1,608百万円（前年同期比34.4%増）となりました。

#### ③音楽映像事業

当事業の音楽映像制作部門におきましては、TVアニメ「キラキラ☆プリキュアアラモード」等のパッケージ商品化を行ったほか、前期に放送したTVアニメ「刀剣乱舞-花丸-」のBlu-ray・DVD販売が引き続き好調に推移したほか、これらのタイトルを含めたライブラリ作品の配信・番組販売・商品化といった二次利用収入が引き続き好調に推移いたしました。また、当社が事業横断で展開する「戦刻ナイトブラッド」のTVアニメを平成29年10月より放送開始いたしました。

ステージ制作部門におきましては、前期より展開しているシリーズの新作、「舞台『刀剣乱舞』義伝暁の独眼竜」や「舞台『あんさんぶるスターズ！エクストラ・ステージ』～Judge of Knights～」が、特に好調に推移し好業績を牽引したほか、定番シリーズの「ミュージカル『テニスの王子様』」、「ミュージカル『薄桜鬼』」、「舞台『K』」、「舞台『弱虫ペダル』」の新作公演を実施いたしました（一部公演の実績は第4四半期計上）。また、当期の新作といたしまして、「舞台『ジョーカー・ゲーム』」、「B-PROJECT on STAGE『OVER the WAVE!』」を実施し、好評を博しました。このほか、各シリーズのパッケージ販売、ライブビューイング、国内配信事業等が好調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は4,280百万円（前年同期比15.4%増）、セグメント利益は1,409百万円（前年同期比42.3%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、資産23,956百万円（前連結会計年度末比272百万円減）、負債6,944百万円（前連結会計年度末比743百万円減）、純資産17,011百万円（前連結会計年度末比471百万円増）となりました。

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、たな卸資産の増加等により19,699百万円となり、前連結会計年度末に比べ414百万円増加いたしました。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、有形固定資産及び投資その他の資産の減少等により4,257百万円となり、前連結会計年度末に比べ686百万円減少いたしました。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、未払金及び未払法人税等の減少等により6,894百万円となり、前連結会計年度末に比べ731百万円減少いたしました。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、資産除去債務の減少により50百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度の配当、親会社株主に帰属する四半期純利益2,025百万円の計上により利益剰余金が増減し、17,011百万円となり、前連結会計年度末に比べ471百万円増加いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、コンシューマ事業、音楽映像事業は、当初計画を上回る好調な推移となりましたが、オンライン事業におきまして、当期リリースを予定していた新作タイトルの開発遅延や一部タイトルにおけるサービス開始後の低調な推移、不採算タイトルのサービス中止に加えて、期末に予定していた1タイトルの開発を中止したことにより、これら新作による当期業績への貢献が限定的となりました。また、既存の主力タイトル「剣と魔法のログレス いにしえの女神」におきましては、11月から12月にかけて行われた4周年イベントにおいては、一定の成果を上げることができましたが、上半期までの遅れを取り戻すには至らず、年間を通じては、当初の想定を下回る低調な推移となりました。これらの要因により、売上・利益ともに期初に発表いたしました通期業績予想数値を下回る見通しであることから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（平成30年1月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,248	11,085
受取手形及び売掛金	5,500	4,738
電子記録債権	96	170
有価証券	336	361
たな卸資産	653	1,362
その他	1,465	1,996
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	19,285	19,699
固定資産		
有形固定資産	1,305	975
無形固定資産		
のれん	570	427
その他	1,455	1,429
無形固定資産合計	2,025	1,857
投資その他の資産	1,709	1,523
貸倒引当金	△97	△98
固定資産合計	4,943	4,257
資産合計	24,228	23,956
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	895	816
短期借入金	260	160
未払金	3,099	2,838
未払印税	1,241	1,178
未払法人税等	1,001	106
引当金	226	※ 200
その他	901	1,593
流動負債合計	7,626	6,894
固定負債		
資産除去債務	62	50
固定負債合計	62	50
負債合計	7,688	6,944
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,128	1,128
資本剰余金	6,261	6,261
利益剰余金	11,070	11,528
自己株式	△1,936	△1,936
株主資本合計	16,523	16,981
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5	24
その他の包括利益累計額合計	5	24
新株予約権	8	2
非支配株主持分	1	2
純資産合計	16,539	17,011
負債純資産合計	24,228	23,956

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	21,636	17,390
売上原価	9,578	7,689
売上総利益	12,058	9,701
販売費及び一般管理費	8,236	6,738
営業利益	3,821	2,962
営業外収益		
受取利息	18	14
為替差益	74	21
受取賃貸料	4	—
貸倒引当金戻入額	0	—
その他	1	2
営業外収益合計	100	38
営業外費用		
支払利息	0	0
債務保証損失引当金繰入額	—	8
貸倒引当金繰入額	—	0
その他	4	0
営業外費用合計	4	10
経常利益	3,917	2,990
特別利益		
子会社清算益	16	—
事業譲渡益	—	22
新株予約権戻入益	6	6
特別利益合計	22	28
特別損失		
固定資産売却損	—	2
特別損失合計	—	2
税金等調整前四半期純利益	3,939	3,016
法人税等	1,119	990
四半期純利益	2,820	2,025
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,820	2,025
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	40	19
その他の包括利益合計	40	19
四半期包括利益	2,860	2,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,860	2,044
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において株式会社HONEY∞PARADE GAMESを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(取締役に対する株式報酬制度)

当社は、中長期的な業績向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的とし、新たな株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」を導入しております。

① 取引の概要

当社は、取締役に役位及び業績達成度等により定まるポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。

取締役が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として退任時となります。

取締役に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分割管理するものとします。

② 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付帯する費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度428百万円、500,000株、当第3四半期連結会計期間428百万円、500,000株であります。

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 偶発債務

連結会社以外の会社の金融機関からの借入等に対し、重畳的債務引受を行っております。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
株式会社アニメーションスタジオ・アートランド	8百万円	8百万円
債務保証損失引当金	—	8
差引額	8	—

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
減価償却費	1,265百万円	1,046百万円
のれんの償却額	143百万円	142百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

配当金支払額

平成28年5月12日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	1,551百万円
② 1株当たり配当額	30円00銭
③ 基準日	平成28年3月31日
④ 効力発生日	平成28年6月6日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

配当金支払額

平成29年5月11日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

① 配当金の総額	1,566百万円
② 1株当たり配当額	30円00銭
③ 基準日	平成29年3月31日
④ 効力発生日	平成29年6月5日
⑤ 配当の原資	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、「株式給付信託(BBT)」が保有する当社株式(平成29年3月31日基準日:500,000株)に対する配当金15百万円が含まれております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	オンライン 事業	コンシューマ 事業	音楽映像 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,455	6,498	3,682	21,636	—	21,636
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	26	26	△26	—
計	11,455	6,498	3,709	21,663	△26	21,636
セグメント利益	2,489	1,197	990	4,677	△855	3,821

(注) 1 セグメント利益の調整額△855百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	オンライン 事業	コンシューマ 事業	音楽映像 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,298	5,839	4,252	17,390	—	17,390
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	28	28	△28	—
計	7,298	5,839	4,280	17,419	△28	17,390
セグメント利益	902	1,608	1,409	3,921	△958	2,962

(注) 1 セグメント利益の調整額△958百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	54円52銭	39円16銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	2,820	2,025
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	2,820	2,025
普通株式の期中平均株式数(株)	51,720,700	51,720,680
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式がないため、記載しておりません。
- 2 「株式給付信託(BBT)」制度に関する資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
- 1株当たり四半期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前第3四半期連結累計期間250,909株、当第3四半期連結累計期間500,000株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。